

広域連携優良苗木確保対策費（拡充）

【平成20年度概算決定額 61,942（51,868）千円】

事業のポイント

多様な森林の整備の推進に向けて、広葉樹等の多様な優良種苗を安定的に確保・供給します。

スギ花粉発生源対策として、少花粉スギ苗木等の供給量の増大を図るため、マイクロカッティングによる挿し木生産の事業化を促進します。

- ・ 新たな森林・林業基本計画においては、多様な森林づくりのための広葉樹林化等を推進することとしており、森林整備の基礎的資材である苗木についても広葉樹等多様な優良種苗を安定的に確保します。
- ・ スギ花粉発生源対策として、これまでに開発された少花粉スギ品種等の供給量の増大を図ることが急務な課題となっています。

政策目標

マイクロカッティングによる花粉症対策苗木の供給量を10年後（H29）には約110万本に増大させます。

<内容>

1. 広葉樹等の多様な苗木の生産体制の整備

優良な広葉樹等の苗木を確保するため、広葉樹等の親木（母樹林）から種子の採取、精選等を行うとともに種子等を広域間で活用します。

また、流通段階における産地・系統の表示の促進等を行います。

2. 優良種苗の需給の安定

都道府県間での苗木や種子等の需給バランスを確保するための指導・調整などを行うとともに、苗木の生産計画のための苗畑調査を実施します。

3. 花粉症対策苗木の供給の加速化のためのモデル事業の実施

花粉症対策苗木の供給を大きく加速することを可能とする、新しい挿し木生産技術（挿し穂を採穂園に頼らず、苗木から直接採穂する）の普及を図るためのモデル事業を実施します。

4. マイクロカッティングによる挿し木苗生産を促進

花粉症対策苗木の供給量の増大を図るため、新たな挿し木生産（マイクロカッティング）の導入を支援します。

<補助率>

定額

<事業実施主体>

民間団体

<事業実施期間>

平成18年度～22年度（5年間）

[担当課：林野庁研究・保全課]